

芝和也議員に政策を聞きました

## 日本共産党

消費税10% 容倍改進黨「築」だらけの政治にサミットを

あなたの願いまっすぐ届けます

暮らし

第一の政治へ



川西町議会議員 (7期)

# しば かつや

7期28年 みなさんと一緒に頑張ってきました

- ◎普通教室へのクーラー設置
- ◎子ども医療費立て替え払いなしに
- ◎LGBT理解化
- ◎就学援助金入学前支給に
- ◎自治会街灯のLED化補助
- ◎自治会へ助成金実施
- ◎タウンミーティングの開催
- ◎保育など、非婚ひとり親への見なし控除適用へ
- ◎妊婦検診の補助回数引き上げ
- ◎子ども医療費中学校卒業まで無料に
- ◎高齢者肺炎球菌ワクチンの接種助成
- ◎子どもの任意ワクチン接種助成
- ◎情報公開条例の制定
- ◎学童保育の実施
- ◎ごみの分別収集、紙ごみ資源化
- ◎災害救援物資の備蓄
- ◎こすもす号の実施
- ◎眼内レンズの保険適用
- ◎踏切拡幅化の助勢
- ◎結崎駅券売機の高額紙幣使用可へ
- ◎太陽光など、自然エネルギーの活用促進 など

# 国保の都道府県一本化 安倍政権肝いり政策で 川西町では26%増の見込み

## 国保の均等割り

やめさせよう！

国民健康保険は、全国の市町村が保  
険者になって運営する医療保険で、国  
民皆保険制度の要を担っています。安  
倍政権が、昨年から都道府県化を押  
し進め、都道府県毎に標準保険料を定  
めるため、統一される2024年には、  
川西町では、26%増の見込みが示さ  
れています。

更に国民健康保険は、被用者保険の  
ように事業主負担が無いように、加入  
者の世帯員一人当たりにイクラと言う、  
人頭税のような「均等割り」の仕組  
みがあり、子どもが増えれば増えただけ  
負担が増す、被用者保険には無い仕組  
みにより、年収が同レベルでも倍近い  
保険料になるのが実情です。

そこで全国知事会では、この「均等  
割り」の総額が国全体で一兆円に上る  
事から、2014年、国保に公費を1  
兆円投入して、被用者保険並みの負担  
率にするよう国へ要望しています。

芝和也議員は、町議会でもこの問題  
を取り上げ、多子世帯ほど負担が増え  
るこうした仕組みは、町の子育て支援  
策にも逆こうするとして、少なくとも  
子どもの均等割りの免除制度を町で設  
けるよう提起し、実施に向け議論を重  
ねています。

# 暮らしに希望を 力を合わせて政治をかえよう

## 医療・社会保障の充実

- ☆国保の子どもの均等割りは免除を
- ☆妊婦も子ども医療費助成の対象に
- ☆国保・後期の住民税非課税者の免除措置を
- ☆病児保育の実施を



## 暮らし応援

- ☆高等教育への学資の手立てを
- ☆給食費の無償化を
- ☆住宅リフォームの助成を
- ☆学童保育の受け皿拡大を
- ☆中学入学時も制服支給を
- ☆配食サービスの回数増を
- ☆地域交通(デマンドタクシー)の拡充で移動手段の確保を



## 災害から身を守ります

- ☆ブロック塀の撤去・補強への助成を
- ☆避難所の空調整備を

